

石巻のこどもたちから

ありがとう！展



2014年8月6日(水)～11日(月)

10:00～18:00(最終日16:00まで)

燦ぎゃらりー (埼玉県川口市栄町3-11-22)

主催：川口銀座商店街振興組合 | 地域商店街活性化事業 協働：一般社団法人キッズ・メディア・ステーション、アトリエ・コパン
後援：宮城県教育委員会、石巻市教育委員会

変身自画像★主な登場人物



左から: マルガレーテ・フォン・エスターライヒ(1584-1611・フェリペ3世の妃)、フェリペ3世(1578-1621・スペイン王)、伊達政宗(1567-1636・仙台藩初代藩主)、支倉常長(1571-1622・慶長遣欧使節副使)、セバスティアン・ビスカイノ(1548-1615・スペインの探検家)

2011年の東日本大震災で宮城県石巻市は大きな被害を受けましたが、徐々に日常生活を取り戻しつつあります。本展では、地元で40年の伝統がある子どもの造形活動「アトリエ・コパン」の子どもたちによる「サン・ファン・パウティスタ号※」と「変身自画像」、震災後に始まった子どもたちの情報発信活動「石巻日日こども新聞」をご紹介します。みなさまからのご支援に感謝を込めて、復興に向かう石巻の今を、子どもたちの表現でお届けします。期間中、石巻の子どもたちも参加するワークショップが開催されます。

アトリエ・コパン | 1975年、民間の子ども造形教育の場として新妻健悦氏が開設。「同じ内容を繰り返さない」の基本姿勢を堅持する。アトリエ・コパンの卒業生は1000人を越え、芸術分野に限らない未来の担い手としての人材を輩出している。

石巻日日こども新聞 | 子どもたちの取材活動により、復興する石巻の今を伝える新聞。石巻日日新聞社の協力により本物の新聞と同じ仕様で制作。東日本大震災から1年後の2012年3月11日創刊。季刊発行。部数は5万部。

※ サン・ファン・パウティスタ号: 仙台藩初代藩主・伊達政宗が、仙台領内に滞在していたスペイン人提督セバスティアン・ビスカイノに協力させて建造した日本製西洋型軍船。慶長三陸地震発生から2年後の1613年、フランシスコ会宣教師ルイス・ソテロ、支倉常長をのせてヨーロッパに出航した。

ワークショップ

川口銀座商店街★聖火台をつくろう！

夏休みを利用して、石巻の子どもたちが川口に行きます！
石巻の子どもたちと交流しながら商店街の聖火台をつくります。

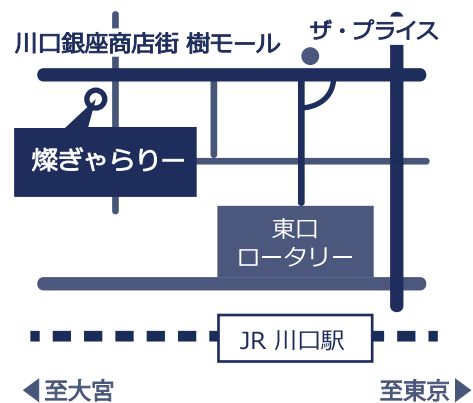
日時：8月10日（日）13:00～16:00

参加対象：小学生～中学生 10名

参加費：無料（※事前にお申し込みが必要です）

講師：門脇 篤 | コミュニティアーティスト

1969年仙台市生まれ。コミュニティとアートをテーマに、子どもからお年寄りまで、バリアフリーなアート・ワークショップやプロジェクトを実施。アートのもつ創造性や普遍性を震災からの復興へ活用する取り組みを行なう。癒し系学習塾「社の教室」塾長。一般社団法人まちとアート研究所代表理事。



燦ざらりー 埼玉県川口市栄町 3-11-22
JR川口駅より徒歩5分

お問い合わせ: 川口銀座商店街振興組合
048.256.0404